

町民の消息

(2月26日～3月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

山内 登久代	90歳	二軒在家
飯塚 善二	97歳	坂田
渡部 昭江	89歳	福井
吉津 幸子	84歳	長浜
新國 守	89歳	只見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和8年3月1日現在

人	口	3,404 (-7)
男		1,703 (-7)
女		1,701 (+0)
世帯数		1,461 (-9)
高齢化率		48.1%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 9 転出 7 出生 1 死亡 10

▽ご卒業、ご卒園された皆様、誠におめでとうございます。これから新たな出会いや発見への期待も大きいと思います。一步一步大切に歩いていってください。▽3月いっぱいまで広報担当から異動することとなりました。コロナ禍の中から始まった広報担当でしたが、気が付けば町のカメラマンと呼んでいただけるようになっており、多くの方に支えていただいていた6年間でした。大変お世話になりました。4月からは新担当者が入りました。取材等お邪魔します。引き続き広報ただみをよろしく願います。(小林)

あとがき

只見公民館 図書紹介

只見公民館図書室
☎82-2141

おすすめ新着図書

★暁星



【著】湊かなえ (双葉社)
「ただ、星を守りたかっただけ——」

現役の文部科学大臣で文壇の大御所作家でもある清水義之が全国高校生総合文化祭の式典の最中、舞台袖から飛び出してきた男に刺されて死亡する事件がおきた。逮捕された男の名前は

永瀬暁、37歳。永瀬は逮捕されたのち、週刊誌に手記を発表しはじめる。そこには、清水が深く関わっているとされる新興宗教に対する恨みが綴られていた。また、式典に出席していた作家は、永瀬の事件を小説として描く。

ノンフィクションとフィクション、ふたつの物語が合わさったとき見える景色とは？

★叫び



【著】畠山丑雄 (新潮社)

「政と聖」(まつりごと)を描く芥川賞受賞作。

聞いて欲しい人が一人おるんです。早野ひかるは「先生」に打ちのめされ、銅鐸と土地の来歴を学び始める。ここではかつて罌粟(けし)栽培と阿片製造が盛んで、満州に渡って「陛下への花束」を編み、紀元2600年記念万博を楽しみにしていた青年がいた。いつしか昭和と令和はつながり、封印されていた声が溢れ出す。

大阪と大陸で響き合う夢とロマン、恋愛政治小説。

○只見公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

